

血液内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	遺伝性血栓性血小板減少性紫斑病（Upshaw-Schulman症候群）のレジストリー研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	血液内科
研究責任者	助教 内野かおり
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	ベルン大学血液内科/中央血液検査室止血研究所（スイス） Johanna A. Kremer Hovinga, MD 奈良県立医科大学輸血部 酒井和哉
研究の意義・目的	遺伝性血栓性血小板減少性紫斑病（Upshaw-Schulman症候群）の患者さんにおける溶血発作および経過中合併症の検討を行います。
対象となる患者さん	2005年4月から2022年3月までに当院で診断された遺伝性血栓性血小板減少性紫斑病の患者さん。
研究の方法	診断時および経過中の診療情報データを国際データベースに集積し、溶血発作および経過中の合併症の検討を行います。
研究期間	症例登録期間：倫理審査承認日より2022年3月31日まで 研究全体の期間：倫理審査承認日より2023年3月31日まで
研究に用いる試料・情報	診断時および発作時の採血検査結果、ADAMTS13関連検査、発作時の症状、経過中の合併症に関連した項目
外部への試料・情報の提供	共同研究機関代表である奈良県立医科大学輸血部とベルン大学に情報を提供します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 内科学講座（血液内科） 担当者：助教 内野かおり 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23540）